PRESS RELEASE

国立大学法人
長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

令和 2 年 11 月 20 日

報道機関　各位

Coronaの濃厚接触者確認方式に着目した

仮想空間でのインフルエンサー影響度把握システムの開発に成功！！

みなさんは、ピコ太郎の動画があれだけ世界で人気を博したのは、世界的なアイドルであるジャスティン・ビーバーが SNS で紹介したことがきっかけであることをご存じでしょうか？ネット空間、つまり仮想空間上で世の中の人々に影響を与える人のことをインフルエンサーと呼びます。まさに、ジャスティン・ビーバーは、そのインフルエンサーの一人です。現在、このインフルエンサーを活用したマーケティング（広告）は、注目を集めており、市場規模は、2028 年には、1,000 億円に迫る勢いがあると言われています（図 1）。

従来、このインフルエンサーの市場価値を判定する方法としては、SNS のフォロワー数や投稿した記事に対する「いいね！」の数が用いられてきました。つまり、ジャスティン・ビーバーのようにすでに知名度の高い有名人に有利な仕組みとなっています。実際には、フォロワー数や投稿した記事の「いいね！」の数が少なくても、商品の公平で丁寧なレビュー記事により、利用者に支持されているインフルエンサーが存在しますが、彼らは正当に評価されないというのが実情です。これは、これまで、投稿した記事が具体的にどれだけの利用者の購買という行動に結び付いたのかを定量化することが難しかったということに起因しています。逆に言えば、これを明らかにすることができれば、より公平にインフルエンサーの市場価値の評価が可能となり、新たに有能なインフルエンサーの参入を拡大させ、インフルエンサーマーケティング市場を健全に成長させることが可能です。

そこで、長崎大学情報データ科学部の小林透研究室では、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）における現実空間での濃厚接触者確認方式に着目し、これを仮想空間に応用することで、インフルエンサーの影響度を把握できるのではないかと考え研究を進めてきました。そしてこの度、そのプロトタイプの開発に成功しました。「新型コロナウイルス接触確認アプリ」では、図 2 のように感染が発覚すると、それ以前に濃厚接触した人にのみ通知がされます。仮想空間でも同様に、図 3 のように利用者による購買が行われた際にそれ以前に仮想空間で濃厚接触したインフルエンサーにのみ通知がされるようにすることで、インフルエンサーの影響度を把握することができます。さらに、コロナの場合と同様、全ての処理が匿名で行われますのでプライバシーの問題もありません。プロトタイプの実装に当たっては、Web ブラウザに標準装備されているローカルストレージ（LocalStorage）（※1）を活用して実装しました。そのため、利用者は特別のアプリをダウンロードする必要がありません。

現在、仮想空間におけるインフルエンサーの影響度を直接評価する手法はなく、本提案方式が社会実装されれば、新たなビジネススキームを長崎から創出することが可能です。本プロトタイプは、コロナ禍の中、小林研究室の学部 4 年生が、社会人博士課程の学生とともに、研究活動の厳しい制約の中で開発したものです。with corona 時代に向けた長崎発の新しい取り組みとして、また、長崎から新たなビジネスを

創出したいという学生たちの熱い取り組みとして、ぜひ、取材のほどお願いいたします。

なお、本技術の補足説明動画を以下の動画サイトにアップしています。合わせてご確認ください。

https://youtu.be/Ey6omfPhz_Q

（※1）ローカルストレージ(LocalStorage)とは、利用者のデータを Web ブラウザ(ローカル環境)に保存することができる仕組み。

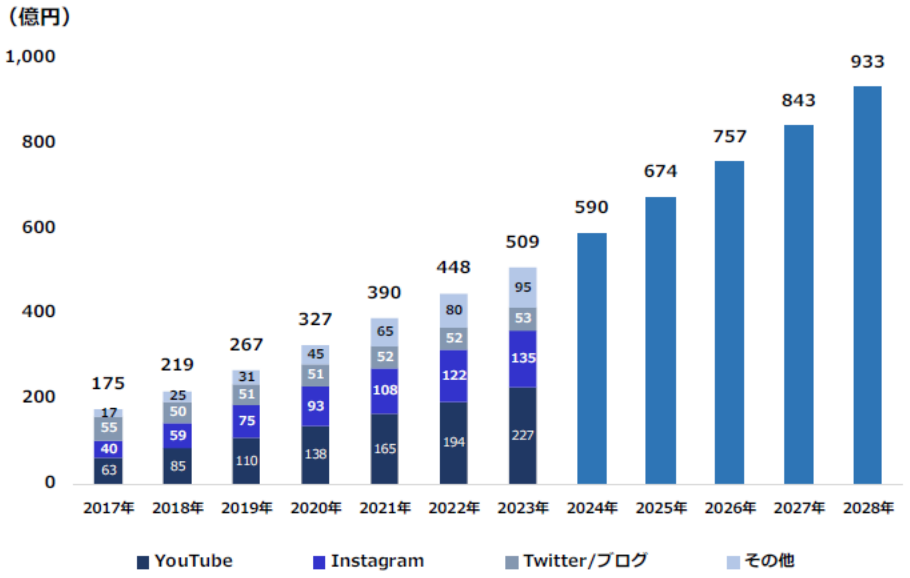
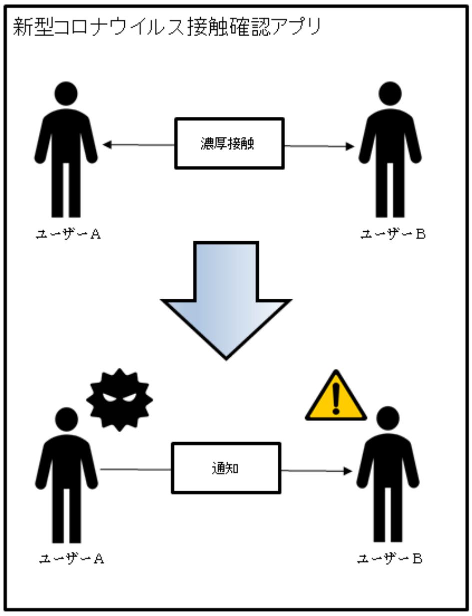


図１　インフルエンサーマーケティング市場規模 2017 年ー2028 年

https://www。exchangewire。jp/2019/04/02/influencermarketing/



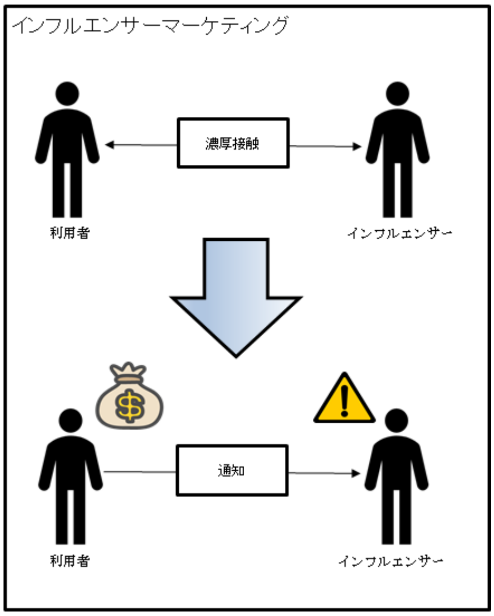


図２　新型コロナウイルス接触確認アプリ　　図３　インフルエンサーマーケティング

※取材を希望する報道機関におかれましては、下記取材申し込み先まで、電子メール・電話にてご連絡をお願いします。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

国立大学法人長崎大学　情報データ科学部

担当：小林・福田　TEL：095-819-2577　Email：toru@cis.nagasaki-u.ac.jp